

「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」では、  
新たに活躍して頂けるメンバーを募集しています。

### サポートスタッフチーム

コンサート当日のフロントスタッフ（もぎり、プログラム配布、花束受付、コーヒースービス、客席案内、子どもオペラ学校の受付、交流会の準備）等、来場されたお客様を迎え入れおもてなしするチームです。

### 広報チーム

ご覧いただいている、季刊誌を作成するために取材、編集作業を行います。また、コンサートの企画や、地域のイベントへ参加など、まちづくりの会の活動をPRするチームです。

### 衣裳・道具製作チーム

裏方で活躍するチームです。舞台を飾る美術セットや出演者が身につける衣裳などを、公演に関わるスタッフと話し合い、手作りでイメージを形にしています。

### 舞台スタッフチーム

衣裳・道具製作チームと同じ裏方チームです。公演をスムーズに進行するため、スタッフと出演者の連絡役、舞台の場面転換などを行い、舞台を作り上げていきます。



「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」は、新たな目標に向かって活動内容や組織を見直し、新しいまちづくりの会として、再出発しました。

当会ではオペラを通じたイベント（コンサートなど）に関わる広報活動・舞台道具・衣裳の製作・会場の運営など、さまざまな場面で活躍・協力いただける方を募集しています。

未経験・経験者問わず大歓迎です。興味ございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。市民オペラを通じた文化のまちづくりを目指して力を合わせてまいりましょう。

### オペラなるほど

今号からオペラに関するさまざまな話題をとりあげる新コーナーを設けました。第1回はリニューアルされる広報誌に合わせて、本紙を初めて手に取る方からすでにお馴染みの方まで、改めてオペラについておさらいしてみましょう。

#### 「オペラ」ってなあに？

「オペラ」＝邦訳「歌劇」の通り、歌手が演技をしながらセリフを歌う音楽劇です。音楽、演劇、美術が一体となるため、実に多くの人に関わるゴージャスな舞台芸術で、ソリストの美声、合唱団・オーケストラの音の厚み、多様な舞台演出など、楽しみ方は様々。特に近年、台本の読み替え演出も増え、「ラ・ボエーム」でミミたちが現代パリの高速道路入口で重唱する・・・という自由さも。演者の他にも世界観を表現するのに欠かせない衣裳・小道具・舞台装置の製作と可動が舞台を支え、大勢の力が結集し一体となった舞台の高揚感、観客を別世界に導いてくれます。

#### 編集後記

「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」の前身である「オペラ懇親会」が発足して21年。このたびの組織改編に伴い、広報誌もこれまでの「オペラ市民ひたち」からタイトルとデザインを一新し、「オペラネットひたち」としてリニューアルいたしました！この生まれたての広報誌を皆様とともに育てていけたら幸いです。何かお気づきの点がございましたら、広報チームまでお気軽にご意見を寄せてください。（鈴木）

#### みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター  
「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」事務局まで Tel 0294-24-7755 Fax 0294-24-7979

# 「ひたちオペラ市民」が新しくなりました！ オペラネットひたち OPERA NET HITACHI

発行/ひたち市民オペラによるまちづくりの会、公益財団法人日立市科学文化情報財団  
〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1（日立シビックセンター） ☎0294-24-7755

2014.2 Vol.1

### 「ひたち野外オペラ公演へむけて」

2013年度より「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」が新体制となりました。

オペラ事業の継続をするため、これまで培ってきたノウハウを次世代に継承し新たな人材の育成をはかること、2015年度に開催を予定している野外オペラ公演に向け、各チームの横の繋がりと連携の強化をはかるためチームの体制を再編しました。

また、副会長の顔ぶれも新しくなりました。会長、副会長のみなさまからご挨拶をいただきましたのでご紹介いたします。



2011年5月より、当会の会長を務めております山本忠安です。現在の会の前身となる「オペラ懇親会」、「ひたち市民オペラを育てる会」を経て、発足から今年で21年が経過しました。今年度から会も新体制となり、会員の皆様をはじめ、関係者各位の熱意と創意工夫による素晴らしいオペラ創りと文化によるまちづくりを目指し、これまで以上に温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

この度「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」の副会長を務めさせていただき、事になりました原田実能です。

オペラに触れてみて感じる醍醐味は、音楽・美術・舞踊・文学・演劇といった様々な要素のパワーをひとつにして表現していく、総合芸術だということです。そしてそこには、表舞台に立つ人もいれば裏方で支える人たちもいます。

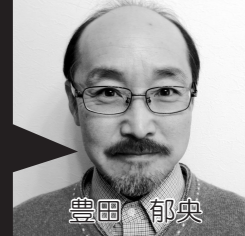
これまで20年近く家業の旅館を営みながら、日立のまちづくりや元気づくりを願って色々な活動に参加させて頂きました。この経験とオペラの持つパワーを、まちづくりに最大限に拡大していけるように邁進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



2014年1月12日（日）「第18回ニューイヤーオペラコンサート」でひたち市民オペラ2014の幕が上がりました。今回は「第6回子どもオペラ学校」も加わり、多くの人々が公演に関わりました。その成果は、昨年末にチケットが完売し、見切れ席までも埋まる満員のお客様に現れたのではないのでしょうか。

継続は力なり！これからも、より多くの人に様々な形で関わって頂けるよう努力したいと思います。それが「日立らしい」公演となり、まちづくりにつながることを目指して！

このたび副会長ということで御指名を受け、自分に何ができるかわからないながら、お引き受けしました。それには理由があるように思います。これまで野外オペラにおいて、毎回劇団の仲間や演劇部員とともに舞台監督助手チームとして参加させていただきました。公演当日はもちろん、それに向けての計画準備運営等、実に素晴らしいものでした。こういう公演を実施できる人材を輩出したことこそ市の財産だろうと思います。土を耕し種を蒔きという、植物を育てるに似た丹精こそ文化を育むものではないでしょうか。そうした場に自分も、自分に何ができないかわからないながら居たい、そう思ったのです。どうぞよろしくお願い申し上げます。





こうもり男爵に扮し、司会進行と指揮を務めた大浦智弘



「ニューイヤーオペラアンサンブル」のみなさん



すばらしい歌声と演技・踊りで会場を魅了したソリストのみなさん  
(写真左から)新海 康仁、熊谷美奈子、大津香津子、田中三佐代、高橋 正典



ひたちオペラ合唱団のみなさん



第6回子どもオペラ学校のみなさん

## 第18回ニューイヤーオペラコンサート ~こうもり男爵からの不思議な舞踏会への招待状~ 楽しかった!! 楽しんだ!! 不思議がいっぱい新春舞踏会

新春恒例のニューイヤーオペラコンサートは2014年1月12日(日)日立シビックセンター大ホールで行われた。子どもオペラ学校発表とあわせた企画で、初めてや不思議がいっぱい詰まっていた。

舞台は、西洋風の大広間。色とりどりの生花が飾られ華やかだ。舞踏会を開いたのは、音楽監督・指揮者の大浦智弘さん扮するこうもり男爵。招待されたのは、なぜかドイツ語で歌うスペインの皇太子やフランス語で歌うスペインの闘牛士、怪しげなロマの女たち、和服の日本人、ハンガリーの歌姫、ドイツの森からやってきた子どもたち…。観客のチケットも招待状。わくわくする。

ニューイヤーオペラアンサンブルの軽やかな演奏が始まると喜歌劇《こうもり》をベースにプログラムは進む。

ソリストはソプラノ田中三佐代さん・熊谷美奈子さん、メゾソプラノ大津香津子さん、テノール新海康仁さん、バリトン高橋正典さんの5名。《こうもり》・《微笑みの国》・《カルメン》・

《チャールダッシュの女王》からの名曲を歌い、セリフで笑いを誘い、早変わりして何役をもこなした。合唱はひたちオペラ合唱団。自前の衣装は個性豊かだ。日々工夫があり、回を重ねるたびにアクセサリーが増えるなど衣装をも楽しんでいただようだ。

第6回子どもオペラ学校生徒たちは成果発表の場。初めて原語で歌うことに挑戦した。ソリストや合唱団との合唱のほかに《ヘンゼルとグレーテル》より2曲を合唱した。美しいハーモニーは感動を呼び、一糸乱れぬ群舞も見事であった。一人一人が精いっぱいのパフォーマンスを見せた。

フィナーレは出演者全員の迫力ある大合唱で会場のすみずみまで声を届けた。観客からはブラボーの声と大きな拍手が送られた。

キャスト・観客が一体となり不思議な舞踏会を楽しんだ。

終演後、出演した合唱団員からは「子どもたちと一緒に歌うのはとても元気が出た」、子どもオペラ学校の生徒からは「原語で歌うのは初めてなので、ちょっとむずかしかったけど楽しかった」などの声が聞かれた。

序曲からウィーンの香りがいっぱい。たくさんのテナー、ヴィリアの歌。子ども達のコーラスと前半だけでも大満足。楽しめたお正月プレゼントでした。

大人も子どもも楽しめた

聞いたことのある曲が多くてよかった

コンサート全体の流れがとても楽しかったです。オペラでありながら敷居の高さを感じることなく本当に楽しかったです。すんなり観客もストーリーに入りこめて良かったです。

とても楽しめました。演出は大変だったでしょうね。いろいろ装置がなくても華やかな衣装で盛り上がった。高技能者の方たちばかりなのですね。2,000円でオーケストラはとても素晴らしかった。安いですね。

子どもたちの合唱がきれいだった。涙が出そうになった



集合写真  
撮影：及川隆史

## 熱気あふれた「オペラミニコンサート&子どもオペラワークショップ」

「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」が新体制となってから、初めての出張コンサートが2014年2月1日(土)、日立市立大久保小学校で開催されました。

オペラを親しみやすく伝え、生の声を聴いて感動していただくことを目的として、小学校、中学校、幼稚園等に出前コンサートをしている「ひたちオペラ団」とオペラの楽しさ、面白さなどを一緒に体験しようと開催されました。今回で第7回目となる子どもオペラ学校の生徒募集を兼ねての催しであり、当日会場には、子どもオペラ学校に興味を持って参加した子どもたちや保護者が多数集まり熱気あふれた公演となりました。

はじめにワークショップで歌の歌い方や体を使った表現などを楽しく学びました。次に、子どもオペラ学校の卒業生も参加しての、オペラ『ヘンゼルとグレーテル』の公演があり、公演の中にワークショップで覚えた曲を会場全員で演じました。休憩をはさんで、第2部ワークショップでは、《ヘンゼルとグレーテル》の「踊りましょうよ」の曲を本番さながらに動きを入れた歌とおどりを学び、演じることの楽しさを体験し幕を閉じました。

### 参加者の声

■大子町小瀬から妹と来ました。前から興味がありました。小3になったら入りたいです。

(小1・女子)

■今日は、弟と来ました。「カルメン※」のとき合唱で参加して楽しかったです。オペラ学校に入りたいです。(小3・女子)

■今日は子どもが参加したいと言うので来ました。子どもは大好きだけど、習い事があるので時間があるかな…。(保護者)

※ひたちオペラ合唱団主催「OPERA NOSTRA」公演



### MEMO

#### ひたちオペラ団

日立市近郊に在住しているメンバーにより2000年に結成されました。強くたくましく楽しく活動しようと結成したとのこと。名前の“オペラ”オペラとケラをかけて命名。

### 子どもオペラ学校 開校!!

第7回を迎える子どもオペラ学校では、さまざまな年齢の生徒たちが舞台づくりを通して、他者との関わりを学びながら自己の成長を遂げる場となってきました。これまでの卒業生は約250名に及び、講師陣、市民ボランティアの皆さんに加え、卒業生がお手伝いに参加して、子どもオペラに親しみ、その楽しさに触れる機会を支えています。子どもたちが講師陣の指導と真剣に向き合った成果は、主に《ヘンゼルとグレーテル》をシビックセンター音楽ホールにおいて披露してきましたが、記憶に新しい第6回期生は2014年にニューイヤーオペラコンサート出演を最大に卒業式を迎えました。大人たちとステージを共にし、勇壮な振りのついた《カルメン》や、静謐な「お祈りの二重唱」を披露すると、客席に活気と心に沁み入る歌声が届きました。

今回の募集では40名の生徒が集まりました。小学3年生から中学2年生までの子どもたちが歌唱・演技・舞踊の稽古に励んでいきます。第7回期生の活躍を、どうぞ楽しみにしててください。

